

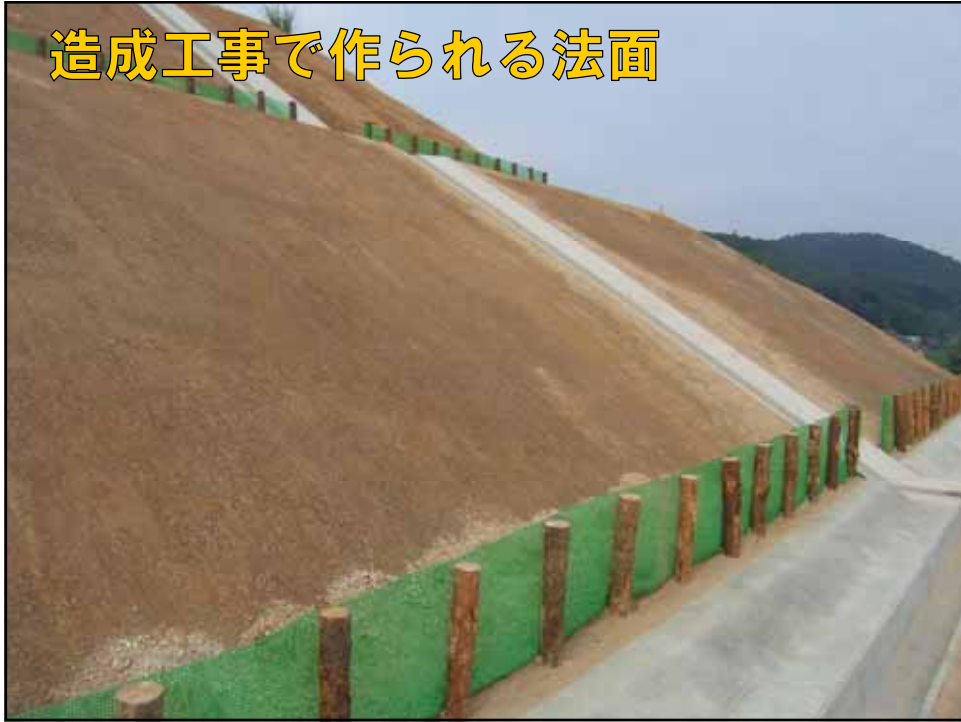
バークブロワにチップを積込む



工事法面にチップを吹付ける

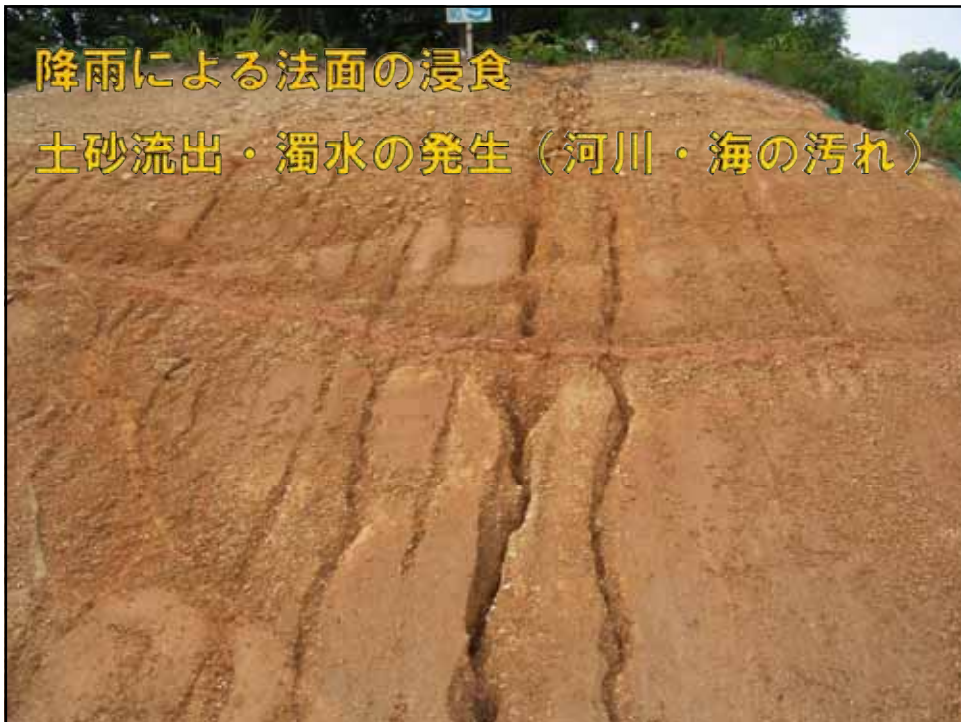


造成工事で作られる法面



降雨による法面の浸食

土砂流出・濁水の発生（河川・海の汚れ）



ウッドチップで法面を保護



ウッドチップで法面を保護



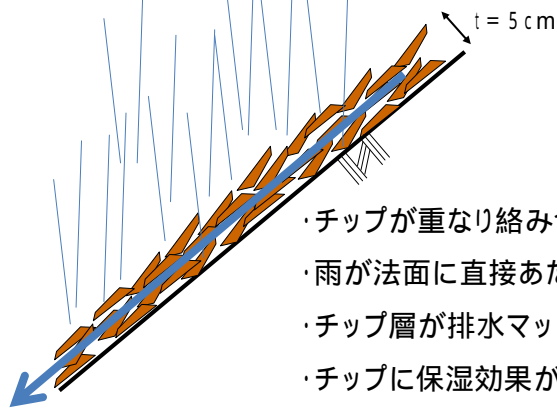
チップ吹付け状況



チップ吹付け状況



法面イメージ図



雨水の流れ
(土砂を含まない)

- ・チップが重なり絡み合い、雨でも流れない
- ・雨が法面に直接あたる事を防ぐ
- ・チップ層が排水マットの役目を果たす
- ・チップに保湿効果がある
- ・微生物の分解により、やがて植物の生育に良質な土壌となる

**タブグラインダーで破碎する
チップのサイズと形状がポイント**

チップの法面保護性能



生態系保全のための飛来種子による緑化

種子吹付けを行わない 生態系の遺伝子的かく乱を防ぐ

国内で利用される種子の90%以上は外国産(国産の入手は困難)

飛来種子、鳥、動物等による植物の自然遷移を待つ

パークプロワによるチップの吹付けにより、
自然植生するまでの長期間の法面保護が可能になる

種子・肥料・ファイバー・基盤材等、外部からの資材の
持込を無くすことができる。

盛土面

飛来種子で緑化された法面

盛土、勾配1割5分 樹木の植栽とチップ散布($t = 5\text{ cm}$)のみ (豊田市交通公園)



切土法面への利用

国土交通省新技術活用促進システム
(NETIS) CB - 040028

エコラウンドショット 型

ウッドチップを2インチ破碎する、もしくは二次破碎し、現場で自然熟成させて切土などの法面に有効な緑化基盤材として利用、種子・肥料供給装置によりチップ材と一緒に吹付け緑化を図る工法です。

植生基材吹付け工に替わる工法として注目されています。



バークブロウ工法（切土・フレーム緑化）



ホース延長最大200m
高低差70mまで
散布できる

(高知県)

